

初志貫徹 修学旅行

加古川市立浜の宮中学校 第3学年

令和8年6月12日

修学旅行が終了しました!

原爆資料館見学、平和集会、長崎市内班別行動、ハウステンボス班活動など、いろいろな活動を行いました。スローガンに対する対策は実行できましたか? 進んで考動できましたか?

「修学旅行をふりかえって」を紹介します。大切なのは「これから」です。いろいろな人のふりかえりを読み、自分自身の反省や今後の生活につなげてほしいと願っています。6月下旬からは期末テストもあります。1日1日を全員で大切にしましょう。



「平和の泉」での「ノドが乾いてしかたなかった」と書かれた文字に、想像をはるかに超えるくらいつらかったんだろうなと想像でき、とても悲しい気持ちになりました。資料館では「後からだんだんと苦しんだ人もいる」と映像が流れていて、今身近な人たちと笑い合うなど、普段のようにそばにいることは当たり前なのではないと改めて感じ怖かったです。周りの人を大切に、戦争、原爆は二度と起こしてはいけませんと思いました。

班別行動では路面電車に乗り、バスのような電車に不思議な感覚を感じたし、私たちの班や他の同じ電車に乗った浜中生が、高齢の方や他の方に席を譲っていて、とてもいいなと思いました。長崎の方々も笑顔で話しかけてくれる方が多く、やさしい心であふれた温かい時間でした。

ハウステンボスではたくさんアトラクションに乗り、とても楽しかったです。風や自然を感じ気持ちよかったです待ち時間もみんなで遊んで、とても充実した時間を全員で過ごすことができました。

私は平和学習、異文化学習、公衆道徳、集団行動など、たくさんを学びました。平和学習では今私たちは安全に過ごしているけど、81年前の人は爆弾などにもおびえて過ごすだけではなく、原子爆弾が投下され、たくさんの方々が犠牲になりました。

平和資料館では、当時の衣服やガラス、炭になってしまったお弁当など、そのときの出来事などがたくさん展示されていました。今では考えられないような状況の写真もありました。平和祈念像の前では浜中生全員で考えた平和宣言で誓いました。私は被爆して亡くなってしまった人たちの分まで、幸せに生きてこの平和宣言を実行しようと思います。

また、異文化学習も行い江戸時代にできた出島資料館に行ったり、班活動でオランダ坂やグラバー坂で異国情緒あふれる街並みをたくさん体験しました。2日目に行ったハウステンボスでは大きな風車などがあり、オランダを感じました。長崎にしかないたくさん文化や歴史を学びました。

私はこの修学旅行を活かして、集団行動、公衆道徳をしっかり考動できるようにします。

過去から学び 文化を感じ 考動する
長崎から始まる 平和への第一歩



原爆資料館では、原爆によって溶けてしまった瓶や服、そして原爆の模型であるファットマンを見学しました。当時どのくらいの影響がでたのか、上空からのモニターで改めて確認することができました。どうして戦争をすることになってしまったのか、そのせいで顔や体に重傷を負った人たちの写真を見て強く感じました。自分たちがそれらの事実を忘れないためにも、後の世代に語り継いでいかなければならない大切さも改めて感じました。

長崎市内班別行動では普段感じることができない長崎ならではの街並み、風景を感じる事ができ、貴重な体験となりました。今回の修学旅行で学んだことは平和の尊さと戦争、原爆の悲惨さ、そして班員と協力し、時には我慢することの大切さです。これらを今後の学校生活にも活かしていきたいなと思いました。

1日目の平和学習ではバスガイドさんや資料、建物などを見て自分なりに平和への思いを祈ることができ、2日目は班のみんなで全力で楽しむことができました。1日目の平和学習の後だったからこそ気持ちを切り替えることはむずかしかったけど、今こうして楽しめている、生きているということへの感謝を忘れず、考動することができました。ハウステンボスでは合計7つのアトラクションができてすごく楽しかったです。夜のイルミネーションで花火が上がったときの盛り上がりも忘れません。

私は今回の修学旅行で感謝する大切さも学ぶことができました。バス関係者の方々、学年の先生方、クラスみんな、班のみんなと本当にたくさんの方々のおかげで修学旅行や日常が成り立っていると改めて感じることができたので、これからの生活にしっかり活かしていきたいです。

1日目の平和学習では心にグサグサダメージがくる物も多かったけれど、そういう現実から目を背けず、しっかりと向き合って心に刻むことができたのが良かったと思います。平和宣言の「戦争ではなく対話で」「今日のいつてきますが最後にならない未来のために」という言葉が自分の中ですごく心に残っていて「いつてきます」という一種の当たり前を守るの、自分たちの心と方法なんだと気付くことができました。

2日目の市内班別行動では、最初の方はたくさん食べて順調でしたが、天主堂に向かう坂を登りまちがえました。でも、班の皆で笑いながら結局エレベーターで下ったのもいい思い出です。あとは出島資料館が思っていた何倍もおもしろかったです。修学旅行で得た考動する力、全力で楽しむところは楽しむ力を、これからはしっかり活かしていきたいです。

学校のスクリーンではなく現地に行って自分の目で見て、あらためて戦争の恐ろしさや平和を心から願う気持ちが大きくなりました。あの平和宣言のように、戦争のない世界があたり前になるように、今日の「いつてきます」が最後にならない未来を目指して、平和とは何か考え続けようと思います。

2日目、3日目の班別行動では計画通りではなかったけど、班員全員で協力して活動できたので本当に楽しかったです。新幹線やバス、ホテルの部屋などでいろいろな話をし、より仲が深まったと思います。反省点はきばきと行動できていなかったことと、道を広げて歩いてきたことです。この反省点は普段の日常生活、学校生活にも活かすことができると思いました。

この修学旅行はたくさんの方々のおかげでできたから、本当に感謝の気持ちを忘れてはいけません。3年間の学びの集大成としてふさわしい3日間になったと思います。